

2019年9月10日から19日にかけて、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（薬学系）の大学院生7名と引率教員1名が、タイ王国のチュラロンコン大学薬学部を訪問し、科学技術体験コースを体験しました。今年1月には、さくらサイエンスプランにてチュラロンコン大学薬学部の薬学部生や大学院生と引率教員が、長崎大学薬学部を訪問して、長崎大学薬学部にて科学技術体験コースに参加しましたが、その際に参加したチュラロンコン大学薬学部の教員や学生が中心となり、今回の学術交流では多彩なプログラムの編成・実施を執り行って頂き、大学への送迎や生活のサポートなども務めてくれました。

到着日の初日夕方に早速、チュラロンコン大学薬学部の学部学生および大学院生との対面が執り行われ、大学ゲストハウス付近の散策や夕食にて親交を深めました。

二日目午前中に、学部長のDr. Sakulbumrungsil、国際交流担当のDr. PhoolcharoenおよびDr. Rojsitthisakと対面し、お互いに自己紹介を行ったのち、Dr. Phoolcharoenによるチュラロンコン大学薬学部に関する講演を受講しました。午後より、Dr. Panapisalの研究室にてcosmetics scienceにおけるskin evaluationに関する導入講義を受講した後、実習に参加しました。夕方よりwelcome dinnerが開催され、教員および学生との交流を行いました。

三日目は、午前中にSaovabha Memorial Instituteにて抗ヘビ毒素抗体の作成や品質管理などに関する講義を受講し、施設内にあるsnake museumを訪問しました。午後より新規ワクチン開発研究に関する研究紹介と実験の見学を行いました。続いて、Herb Museumの見学を行い、チュラロンコン大学におけるHerbを用いた創薬研究の歴史を学びました。さらに、チュラロンコン大学附属薬局を見学し、薬学部にて開発されたオリジナルの商品なども販売されており、大変興味深い訪問になりました。



チュラロンコン大学の学生との交流



Welcome dinner 時の記念撮影



Saovabha Memorial Institute での記念撮影



Herb Museum 見学の様子



薬局訪問の様子

休日を含む四日目～六日目は、excursionにてタイの有名な寺院や遺跡を訪問し、チュラロンコン大学の教員および学生との親交を深めました。

七日目の午前中には、様々なタイ王国の植物に関する未知の生合成経路のメカニズム解析やそれらの植物を用いた医薬品開発への応用研究に関する説明を受け、実験風景を含めた研究室見学を行いました。午後には、Dr. Panapisalによる cosmetics scienceの学生実習にて、天然物を用いた化粧品合成に関する実験に参加しました。



研究室訪問の様子



学生実習への参加の様子

八日目は、Berlin Pharmaceutical Industry Co. Ltd. のplant見学を行い、原薬の精製、錠剤製造、パッキング、品質管理などに関して学習しました。

九日目は、長崎大学の学生により、今回の訪問に関する報告会が行われ、活発な質疑応答が行われました。最後に修了式にて修了証が授与され、記念品の贈呈があり、全日程が無事かつ有意義に終了しました。



**Berlin Pharmaceutical Industry
見学後の記念撮影**



最終日の報告会の様子